

栄養ふくしま

公益社団法人福島県栄養士会 〒963-8014 郡山市虎丸町 6-18 虎丸ビル 201
TEL:024-939-1195 FAX:024-939-1222 E-mail food-a@fukushima-eiyoushikai.or.jp



ごあいさつ

公益社団法人 福島県栄養士会 会長 中村 啓子

元号も平成から令和へと変わりました。社会や環境も激変しつつあり、この変化は今まで私たちが経験したことのないようなほどの大規模なものです。

令和元年台風19号は、県内各地に甚大な災害をもたらしました。福島県栄養士会は15日から各支部長を通して状況把握する。18日、日本栄養士会下浦常務が緊急車両JDA-DATトース号に緊急栄養補給物質の液体ミルクやアレルギー除去食品を積み込んで栄養士会事務所に届けて頂きました。支援物資は県やいわき市から要請があり栄養士が被災者の状況をアセスメントして活用しました。県民に栄養士の顔が見えてきたことと思います。

福島県は健康寿命延伸と健康格差の縮小に向けた取り組みを加速させるため、「健康ふくしま21推進協議会」を、知事及び市町村、関係機関及び団体等の代表者で構成する「健康長寿ふくしま会議」に改編し、推進体制の強化が図られました。栄養士会も健康ふくしま21計画に基づく施策を推進するため食の専門職として健康づくりに関する取り組みの情報交換や健康データの分析・評価・健康課題の共有を行いながら活動していく必要があります。

それには資格を持っている多くの方の入会をお願いします。栄養士会では生涯教育制度があり、スキルアップ、職業倫理の周知、専門職業人としての意識の高揚につとめることができます。私たちの仕事は、どのライフステージにも関わることができます。

皆で福島県を日本一、健康格差の少ない元気な県にしてみせんか。

今後とも県民の皆様には福島県栄養士へのご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いします。



2019年度全国栄養士改善大会で表彰されました

7月28日(日)神戸国際会議場で開催された2019年度全国栄養士改善大会に於いて、昨年度より23名の会員増の功績により受賞しました。会員の皆様これからもよろしくお願いします。

災害時における管理栄養士・栄養士の専門性

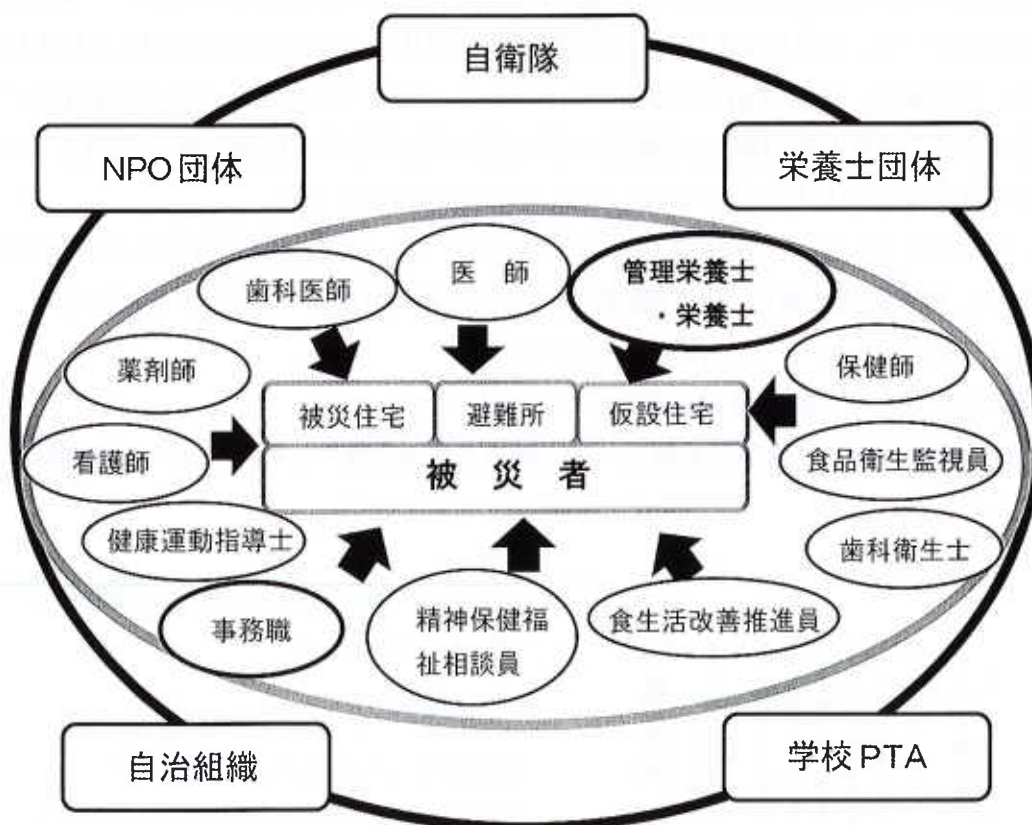
災害対応の主体は被災市町村であるが、都道府県や支援市町村及び支援団体等は、被災市町村が提案する対応・普及・復興計画が円滑に実施できるよう最大のサポートを行う。

行政組織に属する管理栄養士・栄養士（以下「管理栄養士等」という。）は、被災状況や優先順位を的確に判断した行動が重要である。

支援の必要な方々に、迅速かつ適正な栄養と水分の供給を調整し、住民の健康を守るのが行政管理栄養士等の役割であり、支援活動とともに行う保健医療従事者との連携、栄養士の活動調整、ソーシャル・キャピタルを活用した支援活動等により、被災市町村の災害時の対応計画を実現していく。

東日本大震災では、初めて管理栄養士の公的派遣支援が行われるとともに、栄養士会等のボランティア派遣が行われるなど、多様な自治体職員や職域の枠を超えた管理栄養士等が支援活動に携わったが、保健福祉事務所管理栄養士には、円滑かつ効果的な支援活動が行えるように、派遣自治体や関係機関・団体等の支援者の統括・調整を行う役割がある。

管理栄養士・栄養士の専門性を活かすための支援活動連携図



【日本公衆衛生協会：地域保健従事者の派遣支援活動ガイドラインより抜粋・一部改編】

福島県で
活躍している
管理栄養士

「スポーツ栄養との出会い」

公立藤田総合病院 公認スポーツ栄養士 山崎 有理子

今年はラグビーのワールドカップが、来年は東京オリンピックの開催で、日本中で盛り上がりを見せています。このようなスポーツ選手(アスリート)やスポーツ愛好家、健康の保持・増進のために運動を行っている人に対して栄養面からの専門的なサポートを行うのが「公認スポーツ栄養士」です(公認スポーツ栄養士 鈴木志保子先生より引用)。私は1999年に当院名誉院長に声をかけていただき、この道を勉強することになりましたが、当時認知度は低く、食事に即効性がないことから、なかなか受け入れられず苦勞したこともありましたが、時代の流れや先生方を通してスポーツ栄養が口々に伝わり、食の重要性を理解してもらうことができていたことを痛感することが多くなりました。2010年に公認スポーツ栄養士を取得し、現在の主な仕事は、福島県体育協会タレント発掘事業での実習も含めた食育講座、スポーツ少年団や部活動をしている選手へのスポーツ栄養講座(日常や試合前後の食事、補食、水分補給など)、各選手からメールや電話で栄養相談などを行っています。最近、病院でのチーム医療の経験がスポーツ栄養で活かされたり、スポーツ栄養の知識がリハビリテーション栄養に繋がっていたりと、長年病院勤務してきたことが功を奏しています。

現在、福島県には3名の公認スポーツ栄養士がいます。まだまだ他県と比較すると少ないですが、福島県体育協会「認定スポーツ栄養士」として20名養成してもらい、部活動のサポートやスポーツ栄養講義を行い、定期的に勉強会も開催しています。私の夢は、スポーツをする子供達に、自分たちで農作物を育て、調理し、食べる環境を作り、強くなれる体づくりをすることです。そして将来、福島県から国内外で活躍できる選手がうまれたら嬉しいです。

<セミナー風景>

去る9月1日、ホテル福島グリーンパレスにおいて、鈴木志保子先生をはじめとする、日本のトップアスリートへの指導経験をもつ講師陣による「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」が開催されました。地方での開催では一番多い167名の参加で、みなさんのご協力のもと、無事に開催できましたことに感謝申し上げます。



当日提供された「アスリート弁当」



<認定スポーツ栄養士 勉強会風景>

スキルアップのために始めた勉強会。無理のない年3回の自由参加とし、自分達が講師となり開催しています。みなさん熱心で常に10名以上の方が参加されています。

受 賞 お め で と う ご ざ い ま す 。

2019年度 厚生労働大臣表彰(2名)

栄養指導業務功労者

小 泉 弘子	相双支部	学校健康教育
近内 千由里	県南支部	学校健康教育

2019年度 公益社団法人 日本栄養士会 会長表彰者(7名)

薬 谷 明 美	いわき支部	福祉
佐久間 清 美	県北支部	地域活動
三 瓶 洋 子	県北支部	地域活動
石 渡 雅 美	県北支部	福祉
岸 竜 子	会津支部	公衆衛生
本 田 優 子	県北支部	学校健康教育
大 坂 テルミ	県南支部	福祉

2019年度 公益社団法人 福島県栄養士会 会長表彰者(16名)

齋 須 裕 美	県南支部	医療
五十嵐 智恵子	会津支部	勤労者支援
佐 藤 アキ子	会津支部	医療
佐久山 真帆美	会津支部	医療
熊 谷 理 恵	いわき支部	医療
木 村 浩 子	いわき支部	医療
櫻 井 伯 子	いわき支部	医療
黒 田 彩 子	いわき支部	医療
岡 崎 千 晴	相双支部	医療
橋 本 麻 弓	いわき支部	学校健康教育
芳 賀 富士子	いわき支部	勤労者支援
鈴 木 亜希子	会津支部	地域活動
馬 場 智 子	会津支部	福祉
皆 川 圭 子	会津支部	福祉
柴 田 美 智	会津支部	福祉
加 藤 すみ子	いわき支部	福祉

2019年度 健康ふくしま21推進県民表彰者(3名)

積 口 順 子	県南支部	公衆衛生
関 根 幸 子	県北支部	医療
下山田 由理恵	いわき支部	公衆衛生

2019年度
厚生労働大臣表彰

厚生労働大臣表彰を受賞して

新地町立新地小学校 栄養教諭 小 泉 弘 子

この度の厚生労働大臣表彰「栄養指導業務功労者」の受賞は大変光栄であり、支えてくださった皆様には心から感謝申し上げます。

私は福島県学校栄養職員として27年、その後栄養教諭(H17年度に食育基本計画で栄養教諭制度開始)として、子ども達の健康な体づくりのために、食育実践に取り組んでいます。

大震災・原発事故後は、食育の課題として、地場産物活用・肥満傾向児対策や健康課題解消をテーマに、エビデンスに基づいた食育を実践し、3W(チーム・ネット・フットワーク)により、成果につなげることができました。栄養士会の研修会も大変有意義でした。

今後も「食べる力・感謝の心・郷土愛」を育み、県の食育目標である「食を通してふくしまの未来を担う人を育てる～家庭、学校、地域が一体となった食育の推進」に関係機関と連携し、健康教育に尽力していきたいと思います。

2019年度
公益社団法人
日本栄養士会
会長表彰

日本栄養士会 会長表彰受賞と栄養士活動について

会津若松市役所健康増進課 岸 竜 子

この度は、栄えある日本栄養士会会長表彰をいただきましたこと、誠にありがとうございます。この表彰は、私にとって身に余る栄誉であるとともに、栄養士となってからの日々を振り返る良い機会となりました。

養成施設卒業後、慣れない勤務をしながらの管理栄養士試験勉強の日々を思い出し、今まで、さまざまな形の栄養士業務を経験してきたように感じております。

また、業務とともに栄養士会活動を通じて、数え切れないほど多くの人たちと出会いました。上司や先輩の諸氏、同輩や後輩の皆さん、そして地域住民の皆様によくのことを教わり、さまざまな経験をさせていただき、今の自分があるのは、その方々のお蔭だと感謝いたしております。

しかし、まだまだ道半ばであり、これから人との絆を大切に、栄養士活動に携わっていきましょう、会員の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2019年度
公益社団法人
福島県栄養士会
会長表彰

公益社団法人福島県栄養士会 会長表彰を受けて

南相馬市立総合病院 岡 崎 千 晴

この度、福島県栄養士会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

行政栄養士として病院や保健センター勤務をする中で、様々な経験をさせていただきました。特に東日本大震災と福島第一原子力発電所事故は、私や家族を含め、市民の生活を激変させました。避難による健康問題や食品の放射能汚染など様々な問題が発生し、改めて食の重要性を実感させられると共に、会員の皆様をはじめ、多くの方々から励ましやご協力、勇気をいただきました。今、栄養士を続けられているのは皆様のお陰と感謝しております。

これからは、多くの先輩栄養士の方々からいただいた知識、技術を次の世代に伝えられるよう、より一層精進してまいりたいと考えます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2019年度
健康ふくしま21推進県民
表彰

先輩、同輩、後輩の皆様に感謝！

医療法人明治病院 関 根 幸 子

この度「健康ふくしま21推進県民表彰」を受賞いたしました。

短大を卒業して、当院にとって初めての栄養士として採用されましたが、書類もマニュアルも何も無い状態で、毎日の業務をどのように勤めたらよいのか、途方にくれる私を助けてくださったのは、市内の保健所の栄養士さんや病院の先輩栄養士さんたちでした。

県北病院給食研究会に入会し、頑張っている先輩の後を必死で追いかけての40年でした。

栄養士会では、病院だけではなく、他施設の栄養士さんたちとも交流ができ、たくさんの刺激と情報をいただきました。

今も何か困ったことがあれば、同じ栄養士仲間に電話して、アドバイスをもらうことも多々あります。

これからは、微力ながらも後輩の皆さまにご恩返しできればと考えております。

この度は、本当にありがとうございました。

2019年度 新入会員名簿

平成30年9月～令和元年10月現在 入会順記載

氏名	支部	職域協議会
高島恵美	いわき	医療
鈴木里沙	県北	公衆衛生
柳沼暢	いわき	医療
岡島みゆき	いわき	医療
加藤真理	会津	学校健康教育
岡崎ちなみ	県南	医療
坂林あゆみ	いわき	公衆衛生
半沢怜奈	いわき	公衆衛生
皆川綾乃	会津	勤労者支援
蒲生佳奈	県南	勤労者支援
今村美幸	県南	勤労者支援
古内敦子	相双	医療
吉田奈穂子	県南	医療
佐藤祐香	県北	福祉
辰野紋華	会津	福祉
木内佳奈子	県北	医療
遠藤萌	会津	医療
大澤美月	会津	医療
小幡梨茄	会津	医療
神田美里	会津	医療
齋藤佑香	会津	医療
高橋佳乃	会津	医療
寺島萌美	会津	医療
夏井唯美子	会津	医療
吉川千遥	会津	医療
渡部奏	会津	医療
佐藤香菜子	県北	研究・教育
相楽友泉	県南	福祉
小椋このみ	県北	医療
橋本優希	県南	公衆衛生
大和田景子	いわき	医療
半澤海帆里	県北	医療

氏名	支部	職域協議会
久世有花理	県北	医療
高橋のりこ	相双	医療
近藤志保	県南	学校健康教育
大内美代子	県北	医療
林香穂里	いわき	福祉
本田美樹	県北	福祉
真壁ちあき	県南	医療
佐藤瑞穂	県北	医療
阿部俊真	県北	医療
菅野寛子	県北	地域活動
鈴木恭子	県南	医療
横田奈菜	県南	学校健康教育
井上絢乃	県南	医療
奥平美由紀	県南	勤労者支援
佐藤瑞穂	県南	医療
中田陽子	県北	勤労者支援
近藤友里恵	県南	医療
青田かなえ	県北	福祉
吉田舜	県北	医療
鈴木咲絵	県北	研究・教育
石川友菜	県北	研究・教育
押見佳美	県北	地域活動
横山未歩	県北	医療
熊倉有美	県南	福祉
遊佐奈津美	県南	医療
武田理子	県南	福祉
吉田朱里	県南	研究・教育
高橋紗衣子	いわき	医療
関和裕子	県南	学校健康教育
平山佐都子	いわき	医療
伊藤央奈	県南	研究・教育
猪俣聖奈	会津	福祉

橋本 優希

はじめまして。本年度より福島県栄養士会に入会させていただきました管理栄養士の橋本優希と申します。

入庁して約半年が経過し、日々の業務に次第に慣れてきました。郡山市は中核市ということもあり、栄養士の業務内容は多岐に渡ります。中でも、私が担当している「離乳食教室」では、離乳食の進め方の講話をしたり、お母さんの栄養相談にのったりしています。市民との距離の近さを感じられると同時に、正しい情報を伝えなければならないという責任を感じています。他にも、特定給食施設の巡回や食生活改善推進員の育成、特定保健指導の研修・訪問などさまざまな業務を経験させていただいております。

まだまだ栄養士としての知識や経験が足りないと感じる場面が多くありますが、常に学ぶ気持ちを忘れず、日々精進して参りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

佐藤 祐香

本年度より、福島県栄養士会に入会させていただきました佐藤祐香と申します。大学を卒業後、福祉施設の管理栄養士として働き、今年で二年目になります。

実際に働いてからは、知識や経験不足から苦戦することもあります。利用者様とのコミュニケーションや多職種との話し合いの場に参加することで日々学ぶことが多くあり充実した日々を送っています。食べる楽しみを持っていたけるような食事の提供や、利用者様にあった栄養管理ができることを目標としてこれからも頑張っていきたいと思います。

今回、栄養士会に入会し、研修会等に参加させていただくことで高齢者の栄養管理について知識を深め、業務に活かしていきたいです。至らない点も多くあると思いますがご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

福島県栄養士会事務局 菅野 寛子

本年度より、栄養士会に入会させていただきました菅野寛子と申します。

今年の春より、福島県栄養士会事務局にて県の委託事業である「管理栄養士・栄養士人材確保支援事業」の専門コーディネーターとして勤務しております。福島県栄養士会の様々な先生方にご協力いただきながら事業を行っており、未熟な私は日々学ぶことが多くあります。

事業の中でも養成校訪問による仕事説明会では、実施後アンケートに「栄養士、管理栄養士の仕事について視野が広がった。」などとコメントがあると、専門コーディネーターとしてやりがいを感じます。

今後は栄養士会の先輩方を見習い福島県の食と健康に貢献できるよう、研修等に積極的に参加し専門職としての知識を深めていきたいと思っています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

2019年度 支部・職域協議会活動報告

県北支部

ふくしま健康づくりプラン推進事業 健康フェスタ2019

日時:9月8日(日) 10:00~15:00 場所:福島市アオウゼ

保健・医療・福祉に携わる24団体が協力・連携して実施し、市民の健康づくり意識の向上を図るとともに「健康寿命の延伸」「心筋梗塞・脳卒中の減少」に向けて取り組みました。

「たのしく食べる。カラダよろこぶ」とし減塩の見える化や栄養相談を行いました。



県南支部

イベント事業について

今年度、県南支部では2つの大きなイベント事業を実施いたしました。

1つ目は9月29日(日)に実施された「保健・福祉フェステバル郡山2019」です。本会には保健部会副部長として企画会議から参加しました。テーマを【子どもから高齢者まで各年代に応じた望ましい食事指導】として、県南支部運営委員会の7名が食育SATシステムを用いた栄養指導を行いました。まず主食・主菜・副菜などをフードモデルより選んでいただき、その内容を食育SATシステムにより栄養価計算し、塩分摂取が多かった方には「汁の選択はひかえましょう」など具体的な指導を管理栄養士が行いました。子どもから高齢者まで、さらに障害を持つ方に来場し

ていただき、目的が達成できたものと思います。参加者には、むらせライス様、ハウスウェルネスフーズ様、味の素EAファーマ様からのサンプルを提供しました。

2つ目は10月26日(土)、27日(日)に実施された「チャレンジ福島」にブースを作り、本会から両日とも5名が参加し、豆つかみゲーム、野菜当てゲーム、栄養指導を行いました。豆つかみゲームにおいては小さな子どもだけでなく、ご夫妻で、お友達同士で、高齢者も参加され、皆さん楽しそうに体験されておりました。管理栄養士による栄養指導も大変好評で、熱心に耳を傾けられていました。



会津支部 会津支部の活動

令和元年度会津支部の活動は、生涯教育研修「嚥下食実践セミナー」を実習形式で開催し、本会員以外に調理師の方も参加して、職場で役立つ内容だったと好評でした。9月に「ふくしま健康長寿フェスティバル」が会津若松市で開催され、介護予防をテーマに来場した方々へ食事の重要性を御理解いただきました。例年の会津若松市と喜多方市の健康祭では、栄養士会が栄養相談コーナーを担当し、フードモデル展示等を通して食事について話し、日頃の食生活を振り返る機会とさせていただきました。



いわき支部 減塩への第一歩 ～食塩含浸濾紙による塩味チェック～

食生活改善普及運動の取組(健康相談会)
塩味チェック、栄養相談

日時:9月17日(火) 11:00～15:00

場所:マール城東店イートインコーナー

2種類の試験紙を舐めていただき塩味を感じるか体験していただきました。
また、フードモデルを見て『塩鮭ってこんなに少ない量で塩分1gを摂ったことになるのね。』と驚く方が多く、それぞれの食生活に合わせた個別相談の大切さを感じました。



食育講演会「食と健康のフレンドパーク」の「はかろう健康チャレンジコーナー」における
生活習慣病予防の啓発及び栄養相談・血管年齢測定・塩味チェック実施

日時:11月9日(土) 12:00～13:30 場所:いわき市総合保健福祉センター

塩味チェックは、舌にのせて塩分の感受性を検査しましたが皆さん興味津々の様子でした。

話してみると減塩には、気を付けている方が多く、様々な質問があり、健康づくりに対する真剣な気持ちが伝わってきました。



2019年度 医療職域協議会研修会の報告

医療職域協議会では、当会の賛助会員である東北電力株式会社様のご協力により下記の内容で研修会を開催いたしました。

開催日時:8月23日(金)13:30~17:00

8月28日(水)13:30~17:00

場 所:学校法人 永和学園 日本調理技術専門学校

参加者:8月23日 24名

8月28日 23名

内 容:嚥下調整食の家庭と
大量調理施設での展開例

講 師:日本調理技術専門学校

介護食講師

田中 勇大 先生



調理実演献立

ご馳走鯛麺

嚥下調整食分類2013 コード 3



滑らか出汁巻き玉子

嚥下調整食分類2013 コード 3



枝豆腐

嚥下調整食分類2013 コード 3



季節のフルーツ ほうじ茶ジュレ

嚥下調整食分類2013 コード 3



参加者の感想

- 介護食について改めて勉強になる機会となりました。ぜひ参考にさせていただきます。
- 調理技術が間近で見られてとても良かった。
- 卵焼きにソフティアを入れることで滑らかになり食べやすくおいしかった。
- どの料理も介護食とは思えない美味しさでした。
- 嚥下困難な方に身近な食材を工夫し、食事を楽しんでもらうという課題解決に繋がりました。
- 日本料理の美しさ、調理の手際にとっても感動しました。増粘剤に葛粉などを使っていてとてもいい勉強になりました。
- 田中先生には、介護食を調理工程から分かりやすくご指導頂き、大変有意義な研修会となりました。
- 又、賛助会員の東北電力様にも大変お世話になりました。感謝申し上げます。



2019年度

『県中地域摂食嚥下ケア体制整備事業における
食形態の平準化研修会』

日 時:11月13日(水)13:30~16:15

場 所:郡山市中央公民館 多目的ホール

参加者:144名(医療49名 福祉91名 その他4名)

内 容:1.行政説明「県中地域摂食嚥下ケア体制整備事業における食形態の平準化について」

県中保健福祉事務所 健康増進課

2.講義「嚥下調整食分類2013の理解と運用」

講師 公益社団法人日本栄養士会

医療事業推進委員会

常任委員 宮崎純一先生



初めに県中保健福祉事務所から、実態調査報告と今後の課題についての説明がありました。

宮崎先生からは、嚥下調整食の特徴となる物性のものさし(かたさ、付着性、凝集性、粘度)や、摂食嚥下の流れ、嚥下調整食分類2013のコード分けやとろみ調整食品について、とても丁寧にご講義頂きました。



嚥下調整食分類について理解を深め、利用者がどこでも安心して食事が出来るよう、病院・施設・地域と連携し情報提供を行っていく重要性を認識することが出来ました。

公益社団法人 福島県栄養士会組織一覧

公益社団法人 日本栄養士会

公益社団法人 福島県栄養士会

総 会

理事会

常務
理事会

会 長

副 会 長

常務理事

理 事

※理事は、支部から2名、職域から2名選出する。
副会長・理事は以下の事業を分担し、会長が統括する。

総務部

- 会の健全な運営、企画調整業務
- 組織調整
- 表彰
- 災害時対策

副会長・総務部
推薦理事

広報部

- H P、栄養ふくしま
- 広報活動の推進
- 会員増にむけてのアピール活動等

推薦理事

研修教育部

- 生涯教育の企画運営
- 栄養改善学会の企画運営
- 会員の資質向上のための事業等

各協議会理事

事業推進部

- 県からの委託事業
- 栄養ケア・ステーション体制作り等

各支部理事
推薦理事

事務局
(事務員)

監事
(会計監査)

会 員

※会員は、支部と職域のクロスした領域の所属となる。

支 部

	県北支部	県南支部	会津支部	いわき支部	相双支部
医 療					
福 祉					
学 校					
労働者支援					
研究教育					
公衆衛生					
地域活動					

職域協議会

たべる人を想う、つくる人を想う。
食と人のあいだに、ニッカネです。



関東全域から
福島県、宮城県、山形県まで
厨房で使用する業務用の
食材を全てお届け致します。



ニッカネ マヨちゃん

■ 事業内容 業務用食材の販売 ■ 得意先業種 病院・福祉施設、事業所（給食）、学校、飲食店 ■ 取扱い品目 乾物、調味料、冷凍食品、酒類、乳製品、豆腐、納豆、パン、青果物、カット野菜、精肉、生鮮、介護食、雑貨類その他



業務用食品PRO
NIKKANE
CORPORATION ■ 株式会社ニッカネ

業務用食材の総合商社 株式会社ニッカネ

福島支店 〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山仲江 246

TEL：0243-24-6888 FAX：0243-68-2777

トクホのソフール、
乳酸菌 シロタ株で
腸内環境を改善。

良い菌を増やし、悪い菌を減らす
乳酸菌 シロタ株を10億個*以上摂れる
トクホの「ソフール」。

カルシウムも一緒に摂取できる、
ハードタイプのヨーグルトです。

口当たりも良く、

おいしくお召しあがりいただけます。

*1個(100ml)あたり

ソフール

はっ酵乳 各100ml 各100円(税別・メーカー希望小売価格)

○許可表示：生きたまま腸内に到達する
乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)の働きで、
良い菌を増やし悪い菌を減らして、
腸内の環境を改善し、おなかの調子を整えます。

○1日当たりの摂取目安量：1割

【食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。】



ソフール プレーン



ソフール LT



ソフール ストロベリー

人も地球も健康に
Yakult

福島ヤクルト販売(株) TEL.024(535)8960

郡山ヤクルト販売(株) TEL.024(945)8960

会津ヤクルト販売(株) TEL.0242(22)8960

いわきヤクルト販売(株) TEL.0246(58)8960



“心豊かに… 未来にひろがる食文化”

業務用外食材のパートナー

もっとおいしく、もっとたのしく
We are



丸和食品株式会社

本 社	〒963-0101 郡山市安積町日出山四丁目117番地	TEL 024(941)3430
福島営業所	〒960-8141 福島市渡利字平内町 6	TEL 024(521)5411
郡山営業所	〒963-0101 郡山市安積町日出山四丁目117番地	TEL 024(941)3434
会津営業所	〒965-0005 会津若松市一箕町大字亀賀字郷之原209-1	TEL 0242(25)1061
いわき営業所	〒970-8026 いわき市平字東町 20-6	TEL 0246(21)1767



**食べる楽しさに
安心を添えて**

**紅食株式会社は、業務食品、業務用冷凍食品をはじめ、
治療用食品、介護用食品、非常用食品等の販売会社です。
お子様からご高齢者様へ食のサポート事業を展開しております。**

全国病院用食材卸売業（協）
（社）学校給食物資開発流通研究協会
（社）日本外食品卸協会
日本給食品連合会
福島県組合員

紅 食 株 式 会 社

福島県須賀川市卸町 1 2
TEL 0248-76-8121・FAX 0248-76-8124



解決エナジー!

さあ、気持ちよく
仕事しよう!

電化厨房システムで、毎日が快適&エコ。

施設づくりも、エコの時代。東北電力からのご提案です。

業務用

電化厨房システム

「厨房、そろそろ新しくしたい」。そんな経営者の方におすすめなのが、「電化厨房システム」です。電気式なので厨房内の温度が上がらず、スタッフも快適に働けます。しかもドライキッチンで安全、安心な厨房づくりを実現。さあ、あなたの厨房も人と環境にやさしい電化厨房にしませんか?



電化厨房は、「3C+P」を実現します

Cool [クール]

厨房内の温度や湿度の上昇を抑え快適です。空調負荷も軽減されます。

Clean [クリーン]

炎がでないので、油煙やススの発生が抑えられ、調理台や床などの清掃も簡単で衛生的です。

Control [コントロール]

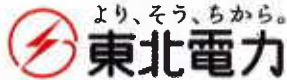
調理の温度と時間の設定が容易になり、作業の標準化が図れます。

+ Productivity [プロダクティビティ]

3Cの厨房環境改善により、調理のシステム化・マニュアル化が可能となり、生産性の向上につながります。

●さまざまな施設に対応しております。

福祉施設 | 病院 | ホテル | レストラン | スーパー など



より、そう、ちから。

東北電力

○お気軽に、お問い合わせください

福島支店 発電・販売カンパニー 法人営業グループ

☎024-540-5807(代)

解決エナジー!



オール電化の満足を、ビジネスにも。

東北電力から提案します、業務用電化システム



株式会社

ホームナース

管理栄養士 募集中!!

お問い合わせ:022-716-2080



トータルライフケアのパートナー



当社では明るく活力ある社会づくりの貢献を目指して、働き盛りの年代、あるいは主婦の方々や高齢者の方々を対象に生活の質（QOL）の向上などを目標に**保健指導事業**を行っております。

特定保健指導に協力していただける管理栄養士さんを急募しております。

まずは上記までご連絡ください。



本社

広島県広島市東区光町2丁目7-17 第二京谷ビル401号

営業所

宮城県仙台市青葉区国分町1丁目8-10 大和ビル4階

福島県栄養士会 2019年度 常務理事会・理事会

4月 6日(土) 第1回常務理事会
4月20日(土) 第1回理事会
6月 1日(土) 第2回常務理事会

6月15日(土) 第2回理事会
10月26日(土) 第3回常務理事会
11月 9日(土) 第3回理事会

2月29日(土) 第4回常務理事会
3月14日(土) 第4回理事会

福島県栄養士会のホームページを活用しましょう!



**ふくしまからはじめよう
食卓から健康を**

栄養や食事を通して人々が健康で幸せな日々を送れるよう、
心からの支援をおこなってまいります。



福島県栄養士会
のご案内



県民の
みなさまへ



栄養ケア・
ステーション



管理栄養士・
栄養士とは



入会のご案内

県民のみなさまへ

栄養・食に関する様々な
情報を掲載しております。
くわしくはこちらから。



管理栄養士・栄養士とは

どうしたらなるの?
どんな仕事?等々、
様々な疑問にお答えします。



求人情報

管理栄養士・栄養士の仕事は多彩。
自分の発想が活かせる職場を
見つけましょう。



健康レシピ

栄養士おすすめのレシピを
紹介しております。
作ってみませんか。



2019年度福島県委託事業

「被災者栄養・食生活支援業務」

東日本大震災及び原子力災害により、長期にわたり避難生活を余儀なくされている方々に対し、自治体からの要請に応じ健康状態の把握や栄養相談・栄養指導・調理実習を通して健康的な食生活が実践できるよう支援を行っています。

『ふくしまからはじめよう。元気なふくしまこ食環境整備事業』『地域の子育て食環境支援業務』

東日本大震災後の子ども達の肥満・体力低下・食習慣の乱れ等の健康課題に対応するため、保育所や幼稚園等からの要請に応じ、子どもの発育・発達段階に応じた望ましい食生活が実践できるよう支援を行っています。

「就職準備金貸付制度」

本県では、東日本大震災以降、相双・いわき地域の管理栄養士の人材が不足しています。
こうした状況から、福島県栄養士会では、管理栄養士の正職員として就職される方を対象に就職準備金の貸付を行っています。

「管理栄養士・栄養士人材バンク事業」

無料職業紹介事業を開設しております。

★詳細については、福島県栄養士会ホームページを御覧ください。